



発行／小諸市公民館
編集／館報編集委員会
〒384-0801
長野県小諸市甲1275-2
☎0267-23-8880

No.813

第30回記念

小諸市民音楽祭

第3部 『手のひらを太陽に』より



- ❖主な内容 16 公民館講座紹介／お知らせ
- 18 教えて！あなたのサークル
- 19 ぼくとわたしの作品【野岸小学校】ほか

- 20 人ひと
- 21 小諸市民音楽祭報告／文化会館カレンダー



私は紅茶といえば、セイロンかダーズリン程度の紅茶の名前しか知りませんでした。調べてみるとウバ、キーン、ヌウラエリア、キャンディなど、はじめて聞く名前の紅茶が沢山あることがわかりました。セイロンやダーズリンと同じで、どれも茶葉の産地の名前のようにです。

茶葉の種類によって味や香りにも違いがありストレートティーに適したものやアイスティーに適した茶葉があるようです。また、茶葉を入れる量や蒸らす時間の違いで、同じ種類の紅茶でも違った味を楽しむことができます。

最近ではスーパーでも販売されている紅茶の種類も多くなってきました。寒くなるこの時期に色々な紅茶を試してみたいかが入りの味を探してみたいか。山 祐子

11月は別名霜月（しもづき）と呼ばれ寒さを感じる時期です。温かい飲み物も一段と美味しくなってきましたね。

ところで、11月1日は紅茶の日と云うのをご存知ですか？1791年11月1日に伊勢の国出身の船頭である大黒屋光太夫という方がロシアに漂着して、初めて本格的な紅茶を飲んだとされています。

これを記念して日本紅茶協会が、もっと紅茶を広めようというので、1983年の11月1日を紅茶記念日と制定したようです。



公民館講座紹介

市民大学



学校ホールで行っております。受講者の交流の場として社会見学会、「つどい」を開催しています。今年度は小諸動物園の見学会を行って動物園の「今」と「これから」について「つどい」で大いに語り合いました。

一流講師の講座ですが気軽に学べ、参加費は3000円(10回)とリーズナブルな設定です。「市民が創る大学」として、益々充実したより良いテーマ、創意工夫を凝らした企画で多くの方が参加され

小諸市民大学は発足から37年になり、これまでに受講者は4000名を超え、講師の方も述べ400名を数えます。毎年7月から9月まで10回開催しており、講師の選定から始まり全て市民による自主的な運営です。最新の時事問題から自然科学、社会科学、人文分野、健康医療問題また身近な地域に関わるテーマなどバラエティでバランス良くテーマを選定しております。毎年、小諸高等学校出身者による音楽コンサートも小諸高等



『音楽のおくりもの～小諸の夏にのせて～』
(第6回講座より)



小諸動物園見学会

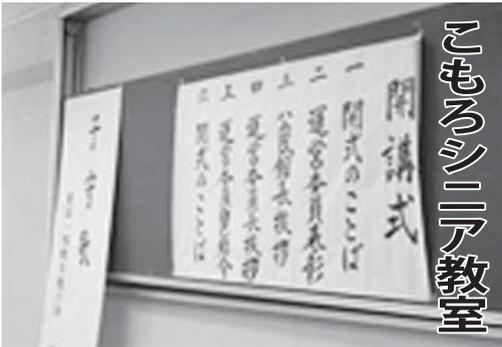


開 講 式

るのをお待ちしております。確かな情報を得て幅広い教養を培って正しい判断力で生きる糧として、地域の自治にも意識を高めましょう。

運営委員 天笠 省

こもろシニア教室



公民館活動の中のシニアの為の学びの講座が大変にぎわっています。高齢者クラブ連合会の役員そして教室生の代表が運営委員となつて、講座の内容の決定、当日の運営などすべてに関わっています。200名を超える教室生が登録されており、毎回100名近い参加者で賑わっています。仲間同士誘い合い、肩ひじ張らない教室の雰囲気はシニアにはぴったりで、皆さん楽しみながら勉強しています。29年度は15回の教室で、そのうち研修旅行を2回実施しており、春は日帰り、秋は1泊2日の旅行です。全部の講座内容は紙面の関係で紹介できませんが、毎年4月に年間の計画が公民館報及び高齢者クラブを通じてお知らせします。尚、年度の途中からでも入会できますので参加してください。教室生の皆さんは、元気で輝いています。

運営委員長 牧野 和人



秋の研修旅行『飛騨・越中の旅』
白川郷にて



第9回『落語』
林家さんぼ師匠



第7回『宇宙開発のいま昔』
諏訪東京理科大学 河村洋学長

女性学級



5月から100名近い学級生が受講しております。年18講座、友人作り、趣味の向上と思いはそれぞれですが、子育ても一段落し、これからの生活の一部として頑張っています。健康・料理・芸術・音楽・手芸と内容は幅広く、得意な分野も苦手な分野も大いに楽しんでいきます。音楽においては、鑑賞後にその余韻に浸ったり、料理においては皆と意見の交換をしたりと楽しくおしゃべりに花を咲かせています。

登山にも挑戦しています。7月、『地の自然を知ろう』ねんぼう岩・深沢溪谷』が実施されました。汗を流しな

がらのハイキング、達成感を味わいました。

又、公民館まつりにも参加し、他のサークルの人達とも交流が持たれます。公民館活動の意義を強く感じさせられた2日間でした。

趣味と仲間作りの活用に女性学級の参加をお待ちしております。

学級長 桶田 美沙子

講座受講の感想

開校式・引き続き第一回

「小諸のイチバン」

29年度の女性学級の開講となり、新しい仲間との出会いを楽しみにしていました。新年度にふさわしい市長さんのお話をお聞きし、小諸市の様々な行事に参加したいと思いました。(4班受講生)

第二回

「いきいき生きるパートⅡ」

何のために生きるのか

前年に引き続き矢嶋正一先生のお話でした。困った時に唱えらるる必ず救ってくれるお経「消災妙吉祥陀羅尼」や坐禅の仕方、そして、最後に七字のうた(坂村真民)を教えてくださいいただきました。(中略)

「よわねをはくなくくよくよするな・なき」というな

うしろをむくな」です。人生を生き延びる大切な言葉です。(5班受講生)

第五・六回

「郷土の自然を知ろう」

「深沢溪谷・ねんぼう岩」

朝まで心配した天気も晴れ出発。小諸に住んで何十年も経つのに「ねんぼう岩」を知りませんでした。ガイドさんアシスタントさん、看護師さん、途中、皆さんの体調を気遣い、追々説明をしてくださり、無事目的地に着くことができました。ありがとうございました。ありがとうございます。近くにこんな良いコースがあることをみんなに知ってほしいと思いました。楽しい一日でした。(2班受講生)



写真提供：BS日テレ

小諸市文化協会創立30周年記念コンサート

フォレスタコンサート in こもろ



平成30年1月19日(金)小諸市文化会館

【開演】14:00 【開場】13:30 全席指定 5,000円

【フライガイド】

■販売開始 【市民先行】平成29年11月6日(月)10:00~(文化会館のみ)

【一般】平成29年11月9日(木)10:00~

■お問い合わせ先 小諸市文化協会事務局 ☎23-8880

☐小諸市文化会館 ☎23-8880

☐コミュニティテレビこもろ ☎22-9911

☐ヒオキ楽器佐久平店 ☎0267-68-7703

写真はイメージです。

数千人のみなさんのサークル

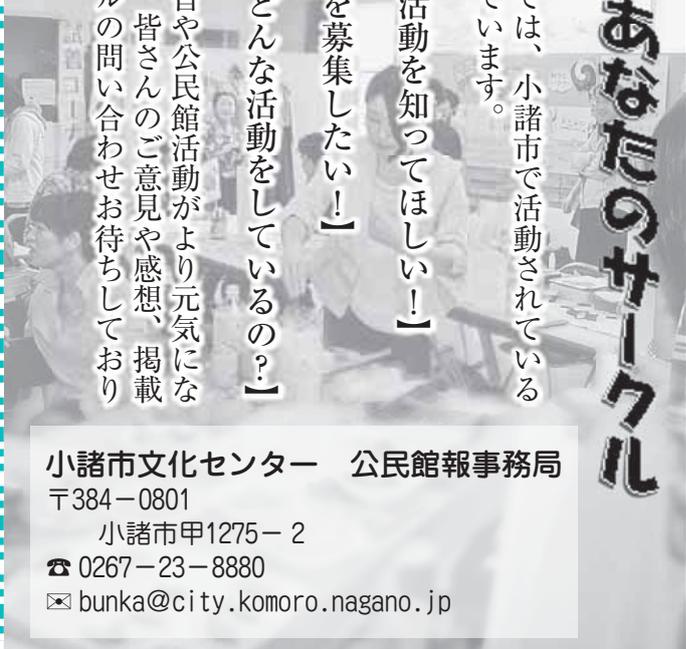
公民館報こもろでは、小諸市で活動されているサークルを紹介しています。

【私たちの日頃の活動を知ってほしい！】

【新たなメンバーを募集したい！】

【あのサークルはどんな活動をしているの？】

小諸市の生涯学習や公民館活動がより元気になることを目指して、皆様のご意見や感想、掲載希望、市内サークルの問い合わせお待ちしております。



小諸市文化センター 公民館報事務局
〒384-0801
小諸市甲1275-2
☎ 0267-23-8880
✉ bunka@city.komoro.nagano.jp

『小諸日本語教室』

当教室は、4月から11月の毎週土曜日、夜7時から9時まで、小諸市とその近隣に来日されている外国人の方々と共に日本語を学習するボランティア活動です。

教室で学ぶ方々の国籍も年齢も日本語経験値も様々なので、学習の仕方もテキストばかりでなく、例えば新聞やフリーペーパーを使い、読解練習のついでに地域の情報も併せて収集できるようにしたりと、創意工夫し楽しみながら行っております。日頃何気なく使っている日本語を改めて簡潔に説明するのは大変ですが、やりがいもある活動です。

海を渡りここ日本で頑張っている方々を、少しでも応援できるように日々精進してまいります。そして私達のささやかな活動のその先が国際相互理解に繋がれば幸いです。



『第一デッサン会』

第一デッサン会は、小諸市公民館のご協力を頂きお陰さまで足かけ46年目を迎えます。

最初の頃は規模の小さな会でしたが、最近は会員も増え、安定した活動ができるようになりました。

尚、年1回高校生も参加しております。

この会は芸術の基礎を学ぶというコンセプトがあり、ローカルにいて中央と同じことを学べるという利便性があるのですが、厳しい時代背景があるのでしょうか。若い方の参加が少ないことを懸念しております。デッサンは形を写す、画面構造を



実践する、表現を探る、そんな意があります。どんなに時代が変わってもそのことは作家には大切なことです。暫くこの形態でこの会の運営をしていきます。

『はーばるクラブ』

みなさんは精油の香りを嗅いだことがありますか？

小さな精油ビンから一滴の精油がしずくとなって落ちたその瞬間、心地よい香りが立ち上がり、それだけで心を穏やかにしてくれます。

私たち『はーばるクラブ』では植物が持つ力に魅せられて、アロマテラピーを通して自分の心や身体と向き合うとともに、日本アロマ環境協会の『アロマテラピー検定一級』の試験合格に向けて学習をしています。

テキストに沿った学習はもちろんのこと、精油を活用した虫よけスプレー作り、ミツロウのハンドクリ

ームや手作り化粧品を作ったりと様々な楽しみ方も学んでいます。このような学習を通して、室内環境を含め自然な香りのある豊かな暮らしを目指しています。





『絵を描く楽しさ』

野岸小学校
6年2組 小山大翔



ぼくは、今年の夏休みに、しなの鉄道の絵にチャレンジしました。小学校生活最後の夏休みなので、精一杯取り組めるものにしようと思い、絵を描くことにしました。

7月31日(月)、学校に行つて、どんな絵にするか、先生が撮つてくれた写真を見ながら構想を練りました。その後実際に走っているところを見に行

きました。電車は、長く待たされたのに、一瞬で通り過ぎてしまいました。でも、通り過ぎる電車は、力強く颯爽としていました。その様子を先生に写真に撮ってもらつて、学校に帰りました。

しなの鉄道には、いろいろなデザインの車両があります。その中から、ぼくは、赤とシルバーの車両を描くことにしました。撮ってもらつた写真を見ているとなんだか「いい絵」が描けそうな気がしてきました。

絵は、3日程、学校に通つて、先生に指導してもらいました。それでも完成しないので、自宅に持ち帰つて、一週間かけて、やっと完成させることができました。

学校では、主に下書きに取り組みました。画用紙を四分割して、電車のパーツや複雑に入り組んだ何本もある線を細かく描くことと奥行きが出るように電車を立体的に表すことに気を付けて描きました。下書きはとても細かく描けました。

『これからが本番だ。』と気を引きしめて色塗りに取りかかりました。というのも、いつも下書きはうまくいって

色塗りで失敗してしまうからです。

色塗りは、バックの空から色を着けました。空の上の方は濃い目に、下の方はうす目にしました。雲もマンガっぽくならないように工夫しました。バックは思うように描けました。

さあよいよ、電車本体の着色です。赤をどのように出すかととても苦労しました。思った色を出すのはとても難しく、パレットの上で作った時は「良い感じ」なのに、白い紙の上に描くと、「変な色」になってしまうのです。だから納得する色を作るのに試行錯誤して時間をかけました。

なので、完成した時は、とても嬉しくて、とても満足する絵が描けたと思っています。今まで、いろいろな絵を描いてきたけど、一番苦労して一番時間をかけたので丁寧に描けたと思います。なので、達成感も味わえ、時間を気にせず没頭して絵を描く楽しさも感じる事ができました。また、時間ができたら、違う絵にも挑戦したいです。



12月公民館講座のご案内

申し込み先：小諸市文化センター TEL23-8880/FAX25-2224/E-mail：bunka@city.komoro.nagano.jp

パソコンで年賀状

～写真やイラストなどを使って オリジナル年賀状を作ろう～

- ◇開催日 12月5・7・12日(火・木)
- ◇開催時間 午後1時30分～3時30分
- ◇場所 図書学習室 ◇定員 16名
- ◇テキスト代 1,000円
- ◆申込み期間 11月7日(火)～11月21日(火)

季節のおもてなし

門松と水引を作って 気持ちよくお正月さんをおむかえしよう!!

- ◇開催日 12月16日(土)
- ◇開催時間 午前9時～12時
- ◇場所 陶芸木工室 ◇定員 20名
- ◇材料費 2,000円
- ◆申込み期間 11月14日(火)～11月24日(金)

託児付き



『エンターテナー目指して』

佐藤 康弘さん



マジシャンシュガーこと、佐藤康弘さんがマジックに出会ったのは6年ほど前のこと。「旅行先のお土産屋にあったマジックグッズがふと目にとまったのです。思い返すと、子どもの頃、ミスターマリツクの超魔術をよく見ていて、マジシャンは心の奥にあった憧れの姿だったのかも」。それからいくつものグッズを買い説明書を見て挑戦してみるものの、コツをつかめず

困っていたところ、市内にマジック同好会があることを知り入会。月一回の例会に参加したり、県外で行われるマジック教室に参加して腕を磨いていきました。数年前からは地域の敬老会や介護施設や幼稚園・保育園でのイベントなどで、マジックを披露しています。

活動を続けていく中、佐藤さんは佐久市で行われたイベントでソルトさん（大越要さん）に出会います。そしてソルトさんにマジックショーを見に来ていただく機会がありました。そこで漫才的な要素に気づいたソルトさんはコンビでマジックの舞台をしないかと提案しました。

「マジックはすごい…とは思ってもらえるけど、それだけでは淡々としがち。そこに笑いが加わることで自分もっと楽しくなっていくきました。」

仕事の合間を縫い、二人で相談しながら舞台を作り上げていくのは、一人でマジックをしていくとは

違う魅力があること。目指す先輩はマジックやナポリオンス。マジックに笑いの

「先輩はマジックやナポリオンス。マジックに笑いの」



相方の大越さん(左)と佐藤さん(右)

要素も加え、マジックに絡めたクイズをやり取りしたり、舞台上上がってマジックに挑戦してもらったりと、お客さんと距離感の近い、一体感を感じられるステージを目指しています。

そんな佐藤さんですが、マジックと出会った6年前から同時進行で目指しているのが、地域の子どもの教育に関わるという夢。コンビのソルトさんは塾講師ということもあり、教育論に花が咲くこともあるそうです。小学校のマジッククラブの講師のほか、自身でマジック教室を主宰。また、何年か先の自分の未来が「こうなっていたらいいな」という思いを形にする

「夢実現新聞」制作の教室も開いています。「6年前は夢だったものが形になってきたと実感しています。今後は自分ができることで子どもの教育に関わっていかれたら。」

名づけて『エンターティメントアカデミー』。新たな夢が動き始めています。編集委員 金子 美江



柳好会

- 土作り手数惜しまぬ自慢作
- 山の子が海を見た日のあの叫び
- 長い道しみじみ語る百五歳
- 一言の労い心温くする
- 人の知恵捻り潰して行く豪雨
- 面目を一新させる自尊心



てまり句会

- 行合ひの雲明けて川底に日矢
- 山脈を静かな時間蕎麦菜咲く
- 貸ボート降りて左右に別れけり
- 山清水溢るる紅きたなごころ
- 葛の花犬はさつさと引き返す
- 芋殻炊く幾重にも傘さしかけつ

小諸市音楽の秋

～第30回記念市民音楽祭～

爽やかな秋晴れの9月23日（土・祝）に小諸市文化会館自主事業『第30回記念市民音楽祭』が、小諸市文化会館ホールで開催されました。例年、市民音楽祭は、市内を拠点として音楽活動をしている団体の皆様の日頃の練習成果を発表する場として開催していますが、第30回の節目の今回の音楽祭では、演奏発表に加え、第1部で「音楽のまち・こもろ 作曲コンクール」表彰式を、第3部では、作曲家 青島広志氏、テノール 小野勉氏の出演による、公演「手のひらを太陽に」を開催しました。

第1部では、まちじゅうに音楽があふれる「音楽のまち・こもろ」をめざし、音楽好きな子どもや若者を育成し小諸市の音楽文化のさらなる発展を図る上で初の試みでありました。第3部では、プロであるお二人の公演に、会場の観客を巻き込み、観客の心まで二人の音楽のとりにこにしたいすばらしい公演でありました。そして、第2部では、11団体が参加し、日頃の成果を発表しました。出演団体が自ら実行委員として運営に関わる等、手づくりによる地域に根

ざした企画であり、当日は、大正琴、ヴァイオリン、吹奏楽などの楽器演奏や合唱（コーラス）と幅広い音楽が奏でられ、ホールには素晴らしい音楽が響き渡りました。演奏者にも観客にも笑顔があふれ「音楽の秋」を満喫した時間となりました。特に、市内小学校3校（水明小合唱愛好部、野岸小合唱部、美南カ丘小合唱部）の皆さんにもすばらしい歌声を披露していただき、盛り上がる事ができました。鑑賞者からの感想の一部を左記に記載しますので、ご一読ください。

- 今年の企画は最高でした。作曲コンクールの表彰式も素晴らしいかった。
- どのグループも大変良かったです。今年も小学校の子と皆さんの歌声がとても良かったです。作曲コンクール感動しました。純粋な子どもたちをうれしく思います。
- 音楽を愛する方々が、一堂に集まって発表し合うことは、素晴らしい、またうらやましく思いました。大人の中の小学生は素晴らしい、音楽のまちこもろ、に将来が楽しみです。
- 青島さんのトークとピアノ演奏もとても良かったです。
- 青島さんのピアノを生で聞けるなんて感動です。

第2部 出演団体
 1 大正琴演奏
 ● コーラス
 ● ヴァイオリン演奏
 ● 才能教育研究会
 ● 吹奏楽演奏
 ● 小諸市消防団ラッパ隊
 ● コーラス・合唱
 ● 浅間山麓男声合唱団
 ● コスベるんりこもろ
 ● コール・フローラ小諸
 ● 小諸合唱団
 ● 小諸童謡唱歌をうたう会
 ● 水明小学校合唱愛好部
 ● 野岸小学校合唱部
 ● 美南カ丘小学校合唱部

ミュージカル buddha **ブッダ** 原作 手塚 治虫

▶ 日時 11/26(日) 開演15:00～
 ▶ 場所 小諸市文化センター
 ▶ チケット 全席指定 3,500円 (高校生以下2,000円)
 ※未就学児の入場はご遠慮願います。

☎ 小諸市文化会館 ☎23-8880 FAX: 25-2224



小諸市文化会館 11月スケジュール

日時	開演	イベント名	主催者
2日(木)	10:30	なかよし音楽会	野岸幼稚園
4日(土)	10:00	長野県女性消防団員意見発表会及び消防団音楽隊交流演奏会	小諸市消防課
5日(日)	13:30	サンクスギビングコンサート	野岸小学校
11日(土)	10:00	長野高文連軽音楽専門部秋季フェスティバル	長野県高文連軽音楽専門部
19日(日)	10:00	ヒオキ演奏発表会	ヒオキ東信事業所
26日(日)	15:00	ミュージカル『ブッダ』	文化会館自主事業

※各イベント等の問い合わせは、主催者をお願いします。

11月予約受付日のお知らせ

- 【公民館・働く婦人の家】 平成30年1月利用予約 11月1日(水) 受付開始
(貸出備品を含む)
- 【乙女湖体育館】 平成30年5月利用予約 11月1日(水) 受付開始
- 【文化会館】 平成30年11月利用予約 11月1日(水) 受付開始

